

一麦出版社の新刊

◎ 4月26日発売

『福音主義教会法と長老制度』

深谷松男〔著〕

定価 3,520円 (本体3,200円+消費税)

A5判・上製・220頁

ISBN978-4-86325-157-1 C0016

堅固な教会を築き上げるためには、  
信仰告白、礼拝・聖礼典、  
そして教会法の確立が不可欠である。  
世俗の法を超え、世俗の法と異なる原理をもつ、  
教会法を基礎から学ぶ手引きの書。

福音主義教会法  
と  
長老制度

深谷松男

日本の福音主義教会の法について、  
初めて体系的にまとめた労作。

民法学者である著者が、日本基督教団常議員、同信仰職制委員会委員として、また長老としての経験を踏まえ、  
具体的事例に即し教会法を考察。

〈著者紹介〉 深谷松男 FUKAYA Matsuo

1933年、福島県に生まれる。1953年、日本基督教団福島伊達教会にて受洗。1956年、東北大学法学部卒業、同助手。1959年、金沢大学講師（民法）、1975年、同教授（法学部）。同法学部長、大学院社会環境科学研究科長を歴任し、1999年、定年により退職し、宮城学院長に就任（2009年まで）。1962年、日本基督教団金沢教会にて長老の按手を受け、2024年2月、同仙台広瀬河畔教会長老を辞すまで60年余、長老を務める。日本基督教団総会議員（1966年～1990年）、同常議員（1974年～1990年）、同信仰職制委員会委員（1976年～1990年、2011年～2015年）、東京神学大学常務理事、キリスト教学校教育同盟理事、日本聖書協会理事等を歴任。  
現在 金沢大学名誉教授、宮城学院名誉理事。